

多賀

あなたがずっと住みたくなるまち



あなたがずっと住みたくなるまち

多賀

まるで万華鏡のように

神秘的な美しさをみせる

四季の移り変わり。

色とりどりに

私たちの心をときめかせる

多賀町の日常です。

contents

- 4 町民インタビュー
- 8 基本施策Ⅰ 子どもの育ちと子育て
- 12 基本施策Ⅱ 生涯学習・協働
- 18 基本施策Ⅲ 安全・安心・健康
- 20 基本施策Ⅳ 環境・コミュニティ
- 22 基本施策Ⅴ まちの活力
- 28 基本施策Ⅵ 都市基盤・住環境
- 30 70年のあゆみ
- 38 第6次多賀町総合計画
- 40 数字で見る多賀町
- 42 TAGA MAP

■ 発刊によせて



多賀町長
久保 久良

豊かな自然と歴史・文化に包まれた多賀町は、昭和30年4月1日に旧多賀町、大滝村、脇ヶ畑村が合併し、令和7年4月1日に70年の節目を迎えました。

現在、少子高齢化・人口減少・空き家の増加・地域の過疎化など本町を取り巻く環境は依然厳しい状況です。しかし、そのような状況の中でこそ「多賀町に住んで良かった」と実感していただけるようなまちづくりを一層進めていかなければいけないと思っております。

この町勢要覧は、先人や諸先輩方、町民の皆様により築き上げられた多賀町の姿を映し出したものです。今後はより一層創意工夫を重ね、住みごこちの良いまちづくりに努めてまいります。

※写真は多賀八景フォトコンテストより掲載



晩秋の彩り(平尚治)…胡宮神社



朱い畦道(桑原達夫)…多賀



早春の森に映える(平尚治)…ミツマタ群生地(佐目)



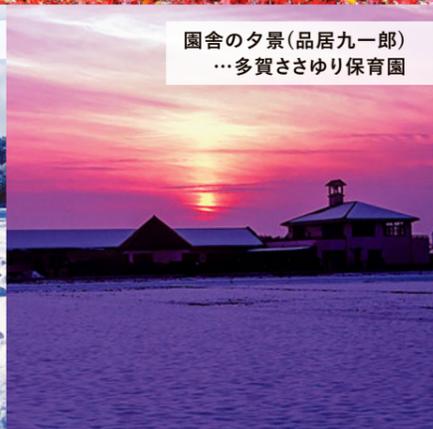
夕照の多賀線(若林武司)…土田



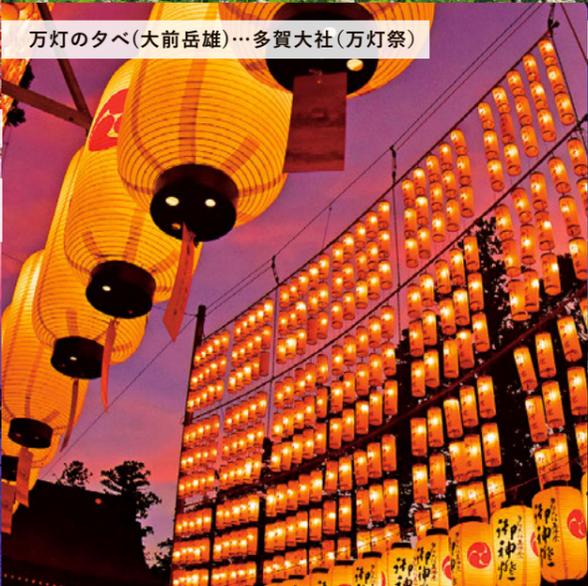
多賀の星空(阪江範康)…犬上川ダム



八重線の冬(増田茂治)…八重線



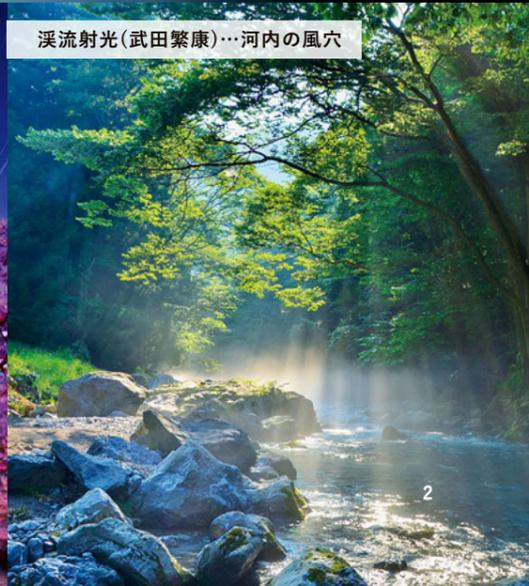
園舎の夕景(品居九一郎)
…多賀ささゆり保育園



万灯の夕べ(大前岳雄)…多賀大社(万灯祭)



春の宴(福田諒)…富之尾



溪流射光(武田繁康)…河内の風穴



多賀町は子育てしやすく暮らしやすいまち

結婚を機に、実家の近くに住むことのメリットを考え、町内に家を立てて暮らすことを選びました。町の若者定住支援事業を活用させていただいています。

天気の良い日には、近くに新しくできた「結いの森公園」へ遊びに行ったり、近所を散歩したりします。お昼



地域の人があたたかく、安心できる子育て環境があります！

小菅さんご家族
親子三人家族

ご夫婦ともに多賀町生まれ。大学や社会人の時に多賀町を離れた後、結婚を機にUターンしました。

町民インタビュー



「結いの森公園」で休日ののんびり過ごすのがお気に入り。豊かな自然の中、子どもをのびのび育てられます。

良い意味での田舎っぽさは変わらないでほしい

子育ての面では、子育て支援センターや年齢別ひろば、子育てサークル「パオパオ」などを利用していきます。紙おむつ代に利用できた育児用品購入助成はとてもありがたい制度でした。普段は『広報たが』でまちの情報を得ることが多いです。

これからの多賀町に

ついて思うことは、四季を感じられる、自然を楽しめるまちであってほしいこと。小児科や産婦人科など、医療機関がもう少し充実してくれるといいですね。

多賀町には昔から地域の人や子どもを見守ってくれる環境があります。散歩していたら声をかけてくれたり、「○○くんの息子さんやんなあ」と覚えていてくれたり。地域のつながりは今も昔も変わりません。一度多賀町を離れてから戻ってきたことで、より魅力を感じることも。夜の星の美しさや自然の豊かさなど、良い意味での田舎っぽさが残っていてほしいですね。



わたしがずっと住みたい理由

豊かな自然や地域のあたたかさにふれながら大切な人と大好きなまちでいつまでも…多賀町での暮らしの魅力をお聞きしました。



手厚い支援が手助けしてくれました！

東京圏から本町に移住し、対象中小企業などに就業した方に移住支援金を提供する「多賀町移住支援金」の他、若年層の定住化や、空き家の利活用による良好な住環境の整備など、支援が充実しています。

- 多賀町移住支援金
- 多賀町若者定住支援事業
- 空き家・空き地情報バンク
- 住宅リフォーム促進事業
- など

三世代で生まれ住むこの町には
 たくさんの魅力と思い出があります！



【定住者】
 大町さんご家族
 親子三世代

ご夫婦は結婚後多賀町を離れ、出産を機にUターン。家族に見守られ、育児の真っ最中です。



お祭りなどの伝統行事や地域活動に家族みんなで関わりながら、多賀町での暮らしを楽しんでいます。

わたしが ずっと住みたい理由

ら住んでいる人…
 です。

豊かな自然と
 地域の伝統が息づくまち

多賀町に長く住んで感じられる一番の魅力は、自然が豊かであることです。暮らしのすぐそばに自然があることで、植物や昆虫、鳥などの存在が生活の一部になっています。自然とふれあうことの大切さが子どもたちの成長にも大きく影響していることを、子育てを通じて強く感じるようになりました。

また、多賀町は子育て支援が充実していると思います。子育て支援センターや子育てサークル、町立図書館など、地域に密着した子育て環境が整備されています。紙おむつや粉ミルク代が補助される育児用品購入助成はとても助かりました。

多賀大社をはじめ、町内には歴史にまつわるスポットがたくさんあります。歴史的に価値のあるまちだなと感じています。お祭りなどの伝統行事も多く行われ、私たち家族も参加しています。これからも絶やさずに継承していきたいですね。

これからも地域の活動で
 まちを盛り上げていきたい

父が「多賀さとの宿（一圓屋敷）」の代表をしており、宿泊される方に楽しんでいただけるようなコンテンツを提供しています。また母は友人と農園を開いて野菜を販売したり、福祉サロン活動をしたりしています。さまざまな形で地域の活動に取り組んでいますので、まち起こしの一つになればと願っています。これからもまの自然を残しながら、若い人の移住者も増えるよう、地域を盛り上げていきたいです。



移住者 × 定住者

町民インタビュー

幸運だった
 多賀との出会い

定年後の田舎暮らしの物件を探していた時、またま友人が空き家だった現在の家を紹介してくれました。「お多賀さん」を抱く歴史の街、窓から見える鈴鹿山系。歴史と自然に恵まれ、都市へのアクセスも良く、大阪・千里ニュータウンのマンションから即決で移住することにしました。

住み始めてもその思いは変わりません。現在は、田舎暮らしの準備としてひと足早く始めた狩猟で日々山を歩き、自宅のわずかな畑を耕す生活を送っています。春には山菜を集め、夏には近くを流れる犬上川に入ること。狩猟シーズンの秋冬は、カモを撃ち、シカを仕留め、イノシシの肉に舌鼓。知り合いの料理人も遊びに来てくれ、薪ストーブを囲んでジビエの宴を楽しんでいます。

あなたも多賀に
 羨む友人を勧誘

近所付き合いもありますが、かつてマンション管理組合の理事長を務めた経験からすると、結局は人間どうしの付き合い、あまり変わりがありませんが、私の生活を羨む友人にはいつも「君も移住を。できれば多賀へ」と勧めています。

別のまちから移住してきた人、昔か
 思い思いのライフスタイルを満喫中

田舎暮らしの最大のメリットは自由な暮らし。自分のライフスタイルに合わせた暮らしを自ら創り、育てていく喜びを感じています。

定年後、多賀町へ！
 日々、町の魅力を感じます！



【移住者】
 西村浩一さん
 田舎暮らしを実現

大阪府豊中市から移住。人生の後半を田舎で暮らしたいと思ったことがきっかけでした。



あなたがずっと住みたくなる

親子で育つまち

子どもも親も

笑顔いっぱいの毎日を送れるよう

地域全体で子育て家庭を

サポートしています。



地域ぐるみで 子育てを支援

次代を担う子どもたちが健やかに成長できることはもちろん、周りの家族や地域など、誰もが笑顔で幸せを感じられる子育て環境の整備に取り組んでいます。多賀町にとって「子育て環境のよさ」はまちづくりの重要なポイント。自然豊かな環境の中にある子ども園をはじめ、地域に密着した相談の場、親子で休日のふれあいを満喫できる公園など、さまざまな面で子育てしやすい環境が整っています。

地域社会全体で子育てを応援する気運が醸成され、地域の中で安心して子どもを産み育てられる環境が整い、子育て家庭が大きな不安や負担を感じることなく、多賀町で子育てしたいと思えるまちづくりを進めています。

子育て家庭に寄り添う 地域の相談の場

子育て支援センター

子どもたちが健やかに成長できるよう、主に未就園児の親子への遊び場の提供や、子育て相談などをおこなっています。



親子で楽しい遊び場



結いの森公園

子どもが楽しめる大型遊具を備え、多世代にわたって利用できる都市公園。鈴鹿山系を眺める田園に囲まれた環境にあり、自然を満喫しながらゆっくりと過ごせます。



多賀町立図書館

赤ちゃんや幼児向けのおはなし会など、子どもが楽しめるイベントを定期的に行なっています。授乳室もあり、小さな子ども連れでも安心して楽しむことができます。

幼保連携型こども園など 充実した子育て施設

家庭や仕事の状況に合わせて利用できる認定こども園や保育園を整備しています。いずれの施設も豊かな自然環境にあり、山の木々や田んぼの稲穂など、四季の移ろいを全身で感じながら、子どもたちは心身ともに健やかに育っています。



大滝たきのみやこども園(町立)



久徳うぐいすこども園(町立)



多賀ささゆり保育園(町立)



なつめ保育園(私立)



ずっと住みたくなる ヒミツ 子育て世代を 応援する 制度が充実

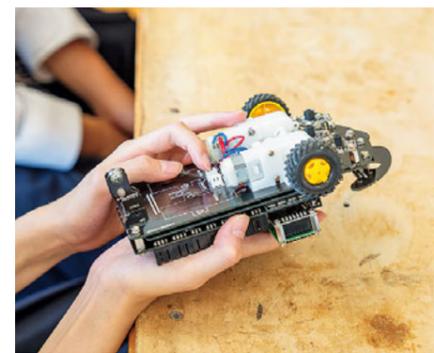
子どもを安心して産み育てるにあたり、医療費などの助成が担う役割はとても重要です。町では、活力あるまちづくりを目的として、多賀町に定住しようとする子育て世代を応援するため、さまざまな助成事業をおこなっています。

- 第三子以降出産祝金
 - 福祉医療費助成(乳幼児・高校生世代)
 - 子育て応援医療費助成
 - 育児用品購入助成
 - 新入学用品支給
 - 育英奨学資金給付
- など





基本施策I 子どもの育ちと子育て



あなたがずっと住みたくなる

未来を育むまち

一人ひとりに行き届く充実の学校教育は
子どもたちの希望を大きくし、
夢があふれる未来へとつながっています。

多賀町の教育の取組

ICT学習など時代に即した授業を展開し、子どもたちが主体的に学ぶ姿勢や学習習慣の定着を図っています。
※写真は多賀小学校/大滝小学校/多賀中学校の授業の様子のようです。



教育現場の連携で子どもたちの未来を育む

学校教育の分野では、学校・家庭・地域が連携し、一人ひとりの個性を尊重した次代を見据えた教育により、子どもたちが確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、自らの力で未来を切り拓く力を身に付けています。町内に2校ある小学校では、自然や歴史、文化などの豊かな地域資源を活かして、地域や関係団体との連携を図りながら、特色ある教育に取り組んでいます。

地域コミュニティや地元産業・各種事業者などとの交流を通じて、地域ぐるみで子どもたちのキャリア教育に取り組み、地域に関する授業や体験学習活動により、自分が生まれ育った地域への愛着と誇りをもった子どもが育つことをめざしています。



子ども議会

小・中学生が町政や議会の仕組みを理解し、町政をより身近なものとして感じてもらうことを目的として実施しています。



自然学習

さまざまな自然体験活動を通して、子どもたちの豊かな人間性を育み、心身の調和のとれた発達の基礎を培っています。



放課後児童クラブ

昼間や下校後に保護者の在宅していない家庭の小学校児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供しています。



ずっと住みたくなるヒミツ

架け橋期のカリキュラム

「心豊かにたくましくつながり学ぶ多賀の子」をテーマにした、幼小連携の指標となるカリキュラム。架け橋期（義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間）にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、学びや生活の基盤を育むことをめざしています。

伝統とともにあるまち

あなたがずっと住みたくなる

日々の参拝者が絶えない
多賀大社をはじめ、
さまざまな歴史や伝統が地域に息づき、
多くの人の手によって
未来へと受け継がれています。

伝統と文化、 祈りが集う場所

伊勢神宮の親神として知られ、古事記にも記録が残る多賀大社は、町民の誇り、心の拠り所として、また、町外からも多くの参拝者が訪れる、多賀町のシンボルの一つです。新年の歳旦祭から始まり、古例大祭や万灯祭など、年間を通して行われるさまざまな伝統行事では、五穀豊穣や国家国民の安泰が祈られています。また町内には、廃寺からの復興を遂げた胡宮神社や、「滝の宮」とも呼ばれる大瀧神社などがあり、幾世代にもわたって大切に守られてきた、郷土のかけがえない宝となっています。

ずっと 住みたくなる ヒミツ

湖国の 夏の風物詩

伊邪那美大神に感謝を捧げ、祖先霊の守護を祈念する祭事。毎年8月3～5日の日没後、約1万灯の提灯が灯ります。



万灯祭



多賀大社

伊邪那岐大神と伊邪那美大神がまつられ、延命長寿や厄除、縁結びなどの御利益があり、滋賀県第一の大社です。
1年を通してさまざまな祭典・行事が行われます。

節分祭



お多賀杓子

元正天皇が病気になった時、シデの木でしゃもじを作り、蒸飯につけて献上したところ快癒されたと社伝に記されています。



多賀大社表参道 絵馬通り

参拝者でにぎわう多賀大社表参道は、古い時代の建物と、装い新たに生まれ変わった商店が建ち並ぶ、情緒ある町並みです。



多賀三社まいり

多賀大社、胡宮神社、大瀧神社の多賀三社をめぐる「多賀三社まいり」



胡宮神社



磐座

大瀧神社

奥の院「滝の宮」とも呼ばれ、本殿は徳川家光公の命令によって造営されたものです。

青龍山の巨石信仰が起源といわれる神社。社務所庭園は池泉鑑賞式庭園で、書院から眺められるようになっています。



【大岡高塚古墳】

巨石を用いて横穴式石室が構築されており、装飾品や鉄製品、馬具が出土しています。



【敏満寺石仏谷墓跡】

青龍山の西麓斜面、標高約180mに立地する中世墓地で、中世の墓のあり方を良好にとどめています。



【檜崎古墳】

犬上川扇状地の開発を主導した地方豪族の墓とみられます。



国史跡
(2005年に指定)

【アケボノゾウ】

全身骨格化石の実物。アケボノゾウは日本で独自に進化して生まれたゾウだといわれています。



アケボノゾウ
化石多賀標本が
国の
天然記念物に



あなたがずっと住みたくなる

歴史つなぐまち

太古の彼方から聞こえてくるのは

懸命にその時代を生きた人々の息づかい。

先人の足跡は文化となり、まちの宝となっています。

【あけぼのパーク多賀】

敷地内に博物館、図書館、文化財センターがあります。博物館では、アケボノゾウをはじめ、動植物の化石などを展示しており、文化財センターでは遺跡の発掘・保護をおこなっています。図書館は、暮らしに役立つ情報を提供するとともに、絵本の読み聞かせや絵本を通して子育てを応援しています。

時を越えて受け継がれる
太古の記憶

平成5(1993)年、多賀町四手の造成地で、約180万年前の琵琶湖に溜まった粘土の中から、アケボノゾウの化石が発見されました。全身の骨格の化石は、全国で最も完全に近い形で発見されたものでした。日本固有種で保存状態が良く、運動機能の特性などさまざまな研究の進展が期待されるもので、令和4年3月に国の天然記念物に指定されました。また、同年5月にはダイニツクアストロパーク天究館で発見された小惑星を「akebonozou」と命名し、まちの新たな魅力として発信しています。町では、文化財を保存・継承していくための担い手の育成や、普及啓発に取り組んでいます。



重要文化財
(1926年に指定)



【木造阿弥陀如来坐像】

頭部の彫り残しなど、豊木から仏が現れるさまを表しています。神仏分離により、多賀大社から真如寺に移されました。



重要文化財
(1964年に指定)



【紙本金地著色調馬・厩馬図 六曲屏風】

桃山時代の狩野派正統の絵師による作品と考えられ、厩(うまや)と調馬が半双に描かれています。

多賀大社所蔵



多賀町古代ゾウ
発掘プロジェクト



「多賀町古代ゾウ発掘プロジェクト」は、アケボノゾウ発掘20周年にあたる平成25(2013)年に結成されました。調査団は発掘調査の成果を地域や全国に発信するとともに、発掘の過程で団員が体感した喜びや感動、楽しさ、学びを幅広い人々と共有しています。

まちの活性化をめざして！ 地域おこし協力隊

地域住民と連携しながら、地域が直面する課題や活性化の創出など、地域力の維持・強化に取り組んでいます。



多賀町地域おこし協力隊の皆さん

＼多様な活動をおこなっています！／



まちづくり活動への 給付金や支援が充実！

多賀町キラリとひかる まちづくり活動支援交付金

自治会が身近な地域課題を自分たちで考え、自主的に解決を図り、また創意工夫により地域の持続的な維持・発展を実現するための事業に活用できる交付金制度。

コミュニティ助成事業

コミュニティ活動に必要な備品の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくりなどに対して助成しています。

個性輝く自治活動補助金

自治会や町民団体、任意団体などが実施する個性あるまちづくり活動に対して補助金を交付しています。



多賀町中央公民館 「多賀結いの森」

木のぬくもりが感じられる公民館で、ホールや会議室、多目的室などを備え、さまざまな使い方ができます。

あなたがずっと住みたくなる

地域で交わるまち

住み慣れた地域で毎日を心豊かに過ごしたい。

そんな希望をかなえようと、

多くの人交流し、まちづくりに関わっています。



多賀に寄り、多賀で語らう 多賀を知り、多賀から学ぶ 多賀でつながり、多賀とつながる

ずっと
住みたくなる
ヒミツ

「第2次多賀町生涯学習推進計画」を策定し、自然と歴史・文化に恵まれた多賀のすばらしい環境で、町民が寄り合い、自ら学び、みんなとつながる「ひとづくり・まちづくり」をめざしています。

暮らしをより豊かにする
協働の場づくり

地域コミュニティの希薄化によって、地域で暮らす人々の孤立が進むことが懸念されている中、町民アンケート調査では多くの人が「あたたか、親切、やさしい」といった多賀町に住む人の人柄や人情をまちの魅力として挙げる回答が多くみられました。また、古くからコミュニティ活動が盛んで、困った時には助け合える雰囲気や基盤となる人と人のつながりがあります。

日々をより楽しく豊かに過ごせるような場所をめざす多賀町中央公民館「多賀結いの森」は、多賀の未来を考える「まちづくりの拠点」。開館以来、地域の人が気軽に立ち寄り、多様な居場所づくりの場となっており、生涯学習や協働による活動を創出しています。



杉の子ホームすくすく

障がいのある方が安心して地域での暮らしを継続できるように、必要な支援やサービスを提供します。



乳幼児健診

子どもの健やかな成長発達を確認する上で重要な時期に実施。育児で気になることの相談もできます。



民生委員・児童委員の見守り活動

子どもの登下校に付き添い、交通安全の誘導やあいさつ・声かけなどをおこない、地域を見守っています。



認知症キャラバン・メイト

認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法などを住民の皆さんへ伝えるボランティア活動をしています。



福祉のしごと就職フェア

湖東圏域にある福祉の職場に就職を希望している人や、福祉の仕事に関心のある人を対象に開催し福祉の担い手の育成に努めています。



高齢者紙おむつ購入費支給事業

介護に関する経済的負担の軽減と在宅介護の促進を図ることを目的とし、紙おむつ購入費を支給しています。



多賀町での防災活動

自主防災組織の維持を図り、全集落を対象とした防災・避難訓練を実施し、地域の防災力を高めています。



足腰シャキッと教室

多賀町総合福祉保健センター「ふれあいの郷」

町民の健康や暮らしを守り、全ての人に保健福祉サービスを提供する拠点です。福祉保健課、子ども家庭応援センター、社会福祉協議会の事務所があります。



多賀清流の里(写真上)/ 犬上ハートフルセンター(写真下)

介護サービスを提供する身近な事業所で、安心してサービスを利用いただいています。

あなたがずっと住みたくなる

心やすらぐまち

一人ひとりに寄り添う安全・安心な地域づくりとともに

生涯にわたって健康でいきいきと暮らせる

まちづくりを進めています。



誰もが安全・安心を
実感できる地域へ

全ての世代が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、子どもや高齢者など、支援を必要とする人たちを地域全体で支える仕組みを整えています。特に近年、災害や事故、犯罪、健康や食の安全などへの関心が高まっており、町民や事業者、行政の総力をあげて、誰もが安全・安心、健康を実感できるまちをつくる必要があります。

災害に強く、事故や犯罪のない、暮らしやすい基盤を整えるために、災害などの緊急時や事故・

犯罪の危険に対して、自ら考え、行動でき、町民同士が助け合える地域社会を育むとともに、まちぐるみで安全な都市基盤の整備に努めています。
少子高齢化が進む中、住民が安心して健康に暮らせるよう、多賀町総合福祉保健センター「ふれあいの郷」を拠点に、健康増進事業や健（検）診受診の勧奨、介護予防事業の充実、介護サービスの提供確保などに取り組んでいます。生涯にわたって健康づくりに取り組む機運をまち全体で育み、県内で最も健康に生涯を過ごせるまちをめざしています。

多賀町見守りQRコード

認知症などで行方不明になった際、衣服などに貼ったQRコードが読み取られると、保護者へ瞬時に発見通知メールが届きます。お迎えまでのやり取りも迅速に行えます。



見守りQRコード

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

町内の農家が集まり、多賀大社前駅コミュニティホール内で直売。安全で安心、おいしい地元の新鮮野菜や果物、加工品などが並びます。



もんぜん市

本が出ました！



多賀に伝わる食の知恵と技を集めた本を発行。これからの地域にとって大切なものは何か、身近な食を通して伝えています。



たがのたべるをつなぐ

いきいきと活力あふれるにぎわいづくり

さまざまな角度から地域を見つめ直し、まちの魅力を高め、発信する活動がおこなわれています。多賀大社への参拝客や地域の人々が憩う「もんぜん亭」をはじめ、多賀大社前駅コミュニティホールで毎週月・水・土曜日におこなわれる「もんぜん市」では新鮮な多賀産の野菜などを求めたくさんの方ににぎわいます。他にも、毎月1日におこなわれる「おついち市」、第1日曜日に多賀大社境内で行われる「お多賀さんde朝市」、年に1回多賀大社前駅から絵馬通りを会場とした「多賀ふるさと楽市」など人がにぎわうイベントがたくさんあります。また、「たがのたべるをつなぐ」をコンセプトにYOBISHIHIPプロジェクトによる多賀の食文化や郷土料理を発信する取組がおこなわれています。

地域の課題を共有した上で、「地域の資源を活かし、守りたい」「多賀ファンを増やしたい」という想いを胸に、今日も多賀町では、人と地域、人と人が結びつき、にぎわいを生んでいます。



多賀大社前駅からはじまるまち歩き



多賀ふるさと楽市

あなたがずっと住みたくなる

にぎわい生み出すまち

人と地域が結びつき、一人ひとりが輝く毎日。

生きがいをもって暮らし続けられる環境が整っています。

昔からお参りの人でにぎわう多賀大社表参道。現在は古き良き昔の建物と、装い新たに生まれ変わった商店が建ち並び、「絵馬通り」の名称で親しまれています。

多賀大社前駅周辺・門前町絵馬通りを会場として、地元の人や各種団体による出店やイベントを開催し、交流を深めています。